

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	近畿大学		設置者名	学校法人 近畿大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
法学部 昼間主 コース	法律学科	350人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度	380人	19人 9人 12人 10人 4人 4人	0人
	政策法学科 (旧・経営法学科)	250人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	昭和41年度 昭和41年度 昭和41年度 昭和41年度 昭和41年度	289人	15人 15人 5人 9人 1人 2人	1人
法学部 夜間主 コース	法律学科	40人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度	6人	0人 0人 0人 0人	0人
	政策法学科 (旧・経営法学科)	40人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語)	昭和41年度 昭和41年度 昭和41年度 昭和41年度	50人	4人 2人 4人 0人 0人	0人
経済学部	経済学科	350人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語) 高一種免(商業)	平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度	—	— — — — — —	—
	国際経済学科	150人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語) 高一種免(商業)	平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度 平成18年度	—	— — — — —	—

	総合経済政策 学科	150人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 中一種免(英語) 高一種免(英語) 高一種免(商業)	平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度	—	—	—	—
経営学部	経営学科 昼間主コース	390人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 高一種免(商業)	平成15年度 平成15年度 平成15年度	—	—	—	—
	経営学科 夜間主コース	160人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 高一種免(商業)	平成15年度 平成15年度 平成15年度	—	—	—	—
	商学科	380人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 高一種免(商業)	平成15年度 平成15年度 平成15年度	—	—	—	—
	会計学科	130人	中一種免(社会) 高一種免(公民) 高一種免(商業)	平成18年度 平成18年度 平成18年度	—	—	—	—
	理工学部	理学科	180人	中一種免(数学) 高一種免(数学) 中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(情報)	昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 平成17年度	149人	57人	9人
	生命科学科	90人	中一種免(理科) 高一種免(理科)	昭和29年度 昭和29年度	82人	12人	1人	
	応用化学科	120人	中一種免(理科) 高一種免(理科)	昭和29年度 昭和29年度	103人	7人	0人	
	機械工学科	200人	中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報) 中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(数学) 高一種免(数学)	昭和42年度 昭和29年度 平成14年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度	173人	4人	0人	
	電気電子工学 科	200人			166人	2人	1人	

			中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報) 中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(数学) 高一種免(数学)	昭和42年度 昭和30年度 平成14年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度		0人 0人 2人 — — — —		
	情報学科	200人			190人	5人	0人 0人 5人	0人
	社会環境工学科	110人			111人	0人	0人 0人	0人
	建築学科	180人			187人	4人	3人 4人	0人
薬学部	医療薬学科	150人			—	—	— —	—
	創薬科学科	30人			—	—	— —	—
文芸学部	文学科 英語英米 文学専攻 (旧・英米 文学専攻)	90人			88人	16人	16人 16人	1人
	文学科 日本文学 専攻	105人			96人	17人	14人 17人	3人
	芸術学科 舞台芸術 専攻	45人			—	—	— —	—
	芸術学科 造形芸術 専攻 (旧・造形 美術専攻)	55人			65人	11人	11人 11人 7人	2人
	文化学科	160人			148人	21人	17人 16人 12人	0人
農学部	農業生産科学科	110人			—	—	—	—

			中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
	水産学科	110人			—	—		—
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(水産)	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
	応用生命化学科	110人			—	—		—
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
	食品栄養学科	70人			—	—		—
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 栄教一種免	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
	環境管理学科	110人			—	—		—
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
	バイオサイエ ンス学科	110人			—	—		—
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成17年度 平成17年度 平成17年度			— — —	
生物理工 学部	生物工学科	90人	高一種免(理科)	平成7年度	81人	9人		0人
	電子システム 情報工学科	90人			91人	11人		3人
			中一種免(数学) 高一種免(数学) 高一種免(情報)	平成7年度 平成7年度 平成13年度			5人 7人 6人	
	知能システム 工学科 (旧・機械制御 工学科)	90人			99人	7人		0人
			中一種免(数学) 高一種免(数学)	平成7年度 平成7年度			5人 7人	
	遺伝子工学科	80人	高一種免(理科)	平成10年度	82人	6人		0人
工学部	生体機械工学 科 (旧・基礎機械 工学科)	80人			87人	6人		0人
			中一種免(数学) 高一種免(数学)	平成10年度 平成10年度			6人 6人	
	生物化学工学 科 (旧・化学環境 工学科)	90人			94人	5人		2人
			中一種免(理科) 高一種免(理科) 中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報)	昭和34年度 昭和34年度 昭和34年度 昭和34年度 平成13年度			3人 5人 0人 0人 0人	

	機械工学科	85人	中一種免(技術) 高一種免(工業)	昭和42年度 昭和34年度	84人	3人 3人 2人	1人
	情報システム 工学科	85人	中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報)	昭和42年度 昭和37年度 平成13年度	93人	7人 1人 0人 6人	0人
	建築学科	90人	中一種免(技術) 高一種免(工業)	昭和42年度 昭和40年度	101人	1人 1人 0人	0人
	電子情報工学 科	85人	中一種免(数学) 高一種免(数学) 中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報)	平成5年度 平成5年度 平成5年度 平成5年度 平成13年度	126人	7人 3人 3人 0人 0人 4人	1人
	知能機械工学 科 (旧・システム デザイン学科)	75人	中一種免(数学) 高一種免(数学) 中一種免(技術) 高一種免(工業) 高一種免(情報)	平成5年度 平成5年度 平成5年度 平成5年度 平成13年度	69人	5人 2人 2人 2人 2人 3人	1人
産業理工 学部	生物環境化学 科	90人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成16年度 平成16年度	—	— —	—
	建築・デザイン 学科	110人	高一種免(工業)	平成16年度	—	—	—
	電気通信工学 科	70人	高一種免(情報) 高一種免(工業)	平成16年度 平成16年度	—	— —	—
	情報学科	70人	高一種免(情報) 高一種免(工業)	平成16年度 平成16年度	—	— —	—
	経営コミュニ ケーション学 科	100人	高一種免(商業)	平成16年度	—	—	—
入学定員合計		6,305人	合計		3,290人	261人	26人

備考	<p>[法学部] 平成16年度より、経営法学科を政策法学科に名称変更。</p> <p>[経済学部] 平成15年度より、商経学部から学部改組。平成18年度より、国際経済学科を設置。</p> <p>[経営学部] 平成15年度より、商経学部から学部改組。平成18年度より、会計学科を設置。</p> <p>[薬学部] 平成18年度より、学部改組。</p> <p>[文芸学部] 平成15年度より、文学科英米文学専攻を文学科英語英米文学専攻に名称変更。 平成16年度より、芸術学科造形美術専攻を芸術学科造形芸術専攻に名称変更。</p> <p>[農学部] 平成17年度より、学部改組。</p> <p>[生物理工学部] 平成15年度より、機械制御工学科を知能システム工学科に、基礎機械工学科を生体機械工学科に名称変更。</p> <p>[工学部] 平成15年度より、化学環境工学科を生物化学工学科に名称変更。平成18年度より、システムデザイン学科を知能機械工学科に名称変更。</p> <p>[産業理工学部] 平成16年度より、九州工学部より学部改組。</p>
----	--

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の制度改革に柔軟に対応していくため、教職課程運営委員会の下部組織として教員養成カリキュラム委員会を平成18年10月に設け、平成20年度より新カリキュラムで運営できるよう検討している。教員養成カリキュラム委員会の執行部として10人のスタッフからなる教職教育部を置き、全学の教職課程の運営と学生の支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。 ・今回の実地視察にあたって、学長以下、副学長、各学部長等が全員出席し、トップの意識が組織の末端まで行き届いていて、教員養成に対しても全学的に取り組んでいるという姿勢が感じられた。 ・教職教育部を置くなど制度改革にも積極的に取り組んでおり、教員養成系学部を持たない総合大学の模範となるに考えられる。この組織をさらに充実・強化させて、全国の模範となるような組織モデル・履修モデルを作してほしい。
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> ・大学としての特長や構想はあるが、教員養成に対する理念について、全学的な議論が十分ではない。
	教職に関する科目等 教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・授業科目「総合演習」について、テーマが限定されている。 ・授業科目「教育心理学」において、教育職員免許法施行規則に定められている「各科目に含めることが必要な事項」である「障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」が含まれていない。 ・シラバスに開講年次が定められていない授業科目が複数あり、カリキュラムの構造化が図れていない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成に関する体制や意欲は感じられ、検討されてはいるが、全学的にさらに検討を重ね、カリキュラムに反映してほしい。 ・「総合演習」は、本来の科目の設置趣旨に沿って、地球環境、異文化理解など人類に共通するテーマや、少子・高齢化と福祉、家庭の在り方など我が国の社会全体に関わるテーマのうち、いくつかのテーマを選択的に設定し、学生が複数のテーマを網羅的に履修できるように、授業科目の内容・履修方法を検討すること。 ・全課程を通じて、法令に定められている「各科目に含めることが必要な事項」が網羅的に含まれた授業科目になっているか、科目の設置趣旨に沿った内容になっているかなど、再度見直しを行い、これらの内容をシラバスに明記すること。 ・一貫した構想に基づき、カリキュラムの構造化・体系化を図ること。

	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスが5ヶ所あり、学生も全国から集まっているため、母校で実習を行う学生への支援が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母校実習の場合、実習生に対する指導が困難であることは理解できるが、受け入れ先の地域の教育委員会や実習校との連携を図りながら進めてほしい。 ・教育実習の受講条件を設定して、適切な実習指導を行うこと。
教職指導、介護等体験等		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会と連携しながら、「スクールインターンシップ」「スクールボランティア」などに取り組んでいる。 ・教職支援室を設置し、学生への支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、教育委員会との連携を継続し、さらに各種体験活動に取り組んでほしい。 ・教職支援室の活用も含め、学生の自主的な取組に対する支援に積極的に取り組んでいる。
免許状取得状況及び教員就職状況		<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の就職対策に、さらに力を入れてほしい。
施設・設備の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・情報センター、図書館などの設備が充実しており、学生も活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合大学であるが、教員養成に関する施設・設備がよく整備されている。情報センターも充実しているので、教員免許課程で活用してほしい。図書も充実しているが、教員養成の観点から集書計画を立てるなどしてほしい。